



生活の中の仏教語

こんりんざい

「金輪際」

曹洞宗布教師 奥野 昭典 師

「なせば成る なさねば成らぬ何事も 成らぬは人のなさぬなりけり」

先日、NHKテレビの「その時 歴史が動いた ～もう一度聞きたい あの人の言葉～」を視聴していると、久しぶりにこの言葉に出会い感動を覚えました。皆さんもご承知の通り、米沢藩第九代藩主上杉鷹山（ようざん）公が「伝国の辞」と共に遺した名言です。

今回の番組では、惜しくもベスト10位入りはならず11位でした。鷹山公は藩主として、当時疲弊した藩の財政を建て直された名君として語り継がれています。先頃の「有頂天」となったバブル経済崩壊後は、鷹山公の藩政改革に学び、会社経営や組織運営のあり方に、その精神を生かそうとする「鷹山ブーム」が巻き起こっています。

しかしながら、実際には、「言うは易し、行うは難し」であり、さらには、それらを遠因と思えるような事件・事故が多発し、そればかりか環境破壊や、格差拡大などが生じているような観さえあります。

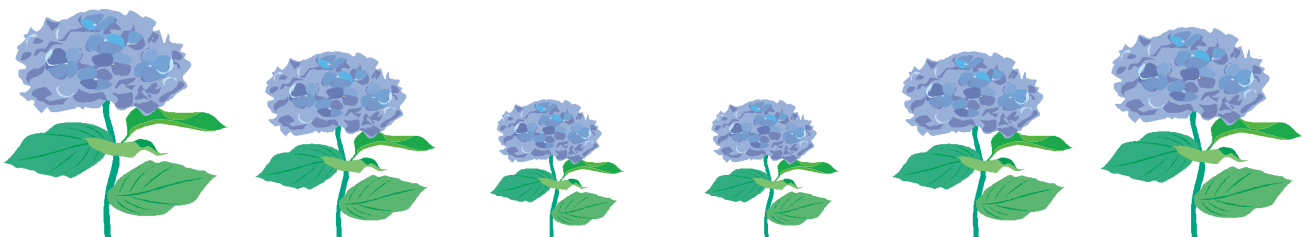
では、一体どうしたら良いのでしょうか。しっかりと原因を究明することはもちろんの事、各自が責任転嫁や先送りすることなく、きちんと心底から反省し、確固とした信念を持って対応することが肝要であると思います。

さて、「金輪際（こんりんざい）」とは、仏教の世界観では、大地の下にある三つの層、下から風輪（ふうりん）、水輪（すいりん）、金輪（こんりん）があり、さらにそれに虚空輪（こくうりん）を加えると四輪となり、それらが、この世界の大地や山々、江海をささえると考えられています。金輪上の一角に住む私達にとっては「金輪際」が真の底であるということから、そこに誓って「金輪際、悪いことはしません。」など、打消しの語を伴って「絶対に～しない」「とことんまで～しない」などと、とことんまで、底の底まで、断じてなどの意味で使われています。

お釈迦様が悟りを開き、成道（じょうどう）される時に、坐禅したところを金剛座と言いますが、これは地の最低の基層にある金輪（金剛輪）が地面に現出したものと考えられています。

これからも、しっかりと、「金輪際」に「誓願」（誓いと願い）を立てて、**オダたず**、こころ豊かな日々の生活を送るよう「精進」してまいりたいものだと思います。

曹洞宗 宮城県布教師協議会会員
（石巻市 広瀨寺 住職）



葬にまつわる体験談

「さようならを伝える写真」

[山口県 女性 主婦 35歳]

貴方には、良い写真がありますか？

先頃放送されたTVドラマ「愛しき者へ」のラストシーンを覚えていまか。美しい亡き妻の葬儀の写真は20代の時の記念写真の1枚で、白髪の老人が思い出深く遺影をみつめている姿は印象深かったようです。

考えてみると、私1人で写った自分の気にいる写真がない。今のように子供が小さい時は、子供中心でビデオや写真はとる側にまわる方が多い。私が急に死亡してしまった時の写真は何が使われるだろうと思うと不安になる。

その為に、一番すてきな写真を一番すてきな笑顔でとっておこうと思う。夫にとってもらうのも良いと思う。しかし、何年かに1度はプロの手をお願いするのも良いかもしれない。留め袖の着物も良いけど私の生きた証の最後の笑顔は、やっぱり見る者をほっとさせるあたたかい1枚でありたい。

私の葬儀に出席して下さった友人やお世話になった人々に、「さようなら」を伝えることのできる1枚を用意しておこうと思う。

そして、人生をしめくくる1枚として私からのプレゼントにしたいと思う。「ありがとう」の言葉をそえて…。

[セキセー（葬にまつわる体験談）引用]

JA葬祭インフォメーション

JAならではの安心でご利用いただけます

ご遺体を病院・施設から搬送いたします。

霊柩車・送迎バスの手配をいたします。

ご葬儀の一切をお世話させていただきます。

仏壇・仏具のご相談を承ります。

香典返し・引出物・法要膳各種承ります。

花環・生花・盛籠各種承ります。

墓石に関する見積・無料相談承ります。